

マイコプラズマ肺炎？ 長引く咳は要注意！

令和6年8月21日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第33週分・8月12日～8月18日)

《インフォメーション》

●マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*)」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。

マイコプラズマ肺炎は5類感染症として基幹定点医療機関から届出されています。マイコプラズマ肺炎の報告は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行した2020年以降は報告数が減少し、秋冬期にも増加がみられませんでした(右図)。患者は若年齢層に多く、14歳以下の患者が全体の6～8割を占めます。報告数の多い年は小児患者の割合が高い傾向があり、2020～2022年は小児患者数が大きく減少し、成人年齢層の患者の割合が高くなったことが報告されています。

感染経路は主に飛沫感染と接触感染で、家庭内や学校など濃厚接触が多い場所で感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間程度とされています。

症状は、発熱や全身倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳などで、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。多くの方はマイコプラズマに感染しても気管支炎などの比較的軽い症状が続いた後に回復しますが、一部の方は肺炎となり、重症化することもあります。治療にはマクロライド系抗菌薬が有効でしたが2010年代の初期には耐性菌が増加しました。現時点でのマイコプラズマのマクロライド耐性率については、十分に調査ができていません。マクロライド耐性が疑われ、抗菌薬使用が必要と判断される場合には、キノロン系薬(トスフロキサシン)の使用も考えられます。

長引く咳などの症状があるときは、医療機関を受診しましょう。

感染予防には普段から流水と石けんで手洗いをするのが大切です。また、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることを心がけましょう。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 6件 (①第32週診断分:80歳代、女性 ②③ともに30歳代、女性 ④50歳代、女性 ⑤60歳代、女性 ⑥80歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①②ともに60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 梅毒 2件 (①40歳代 ②50歳代 ①②ともに男性、早期顕症梅毒I期)

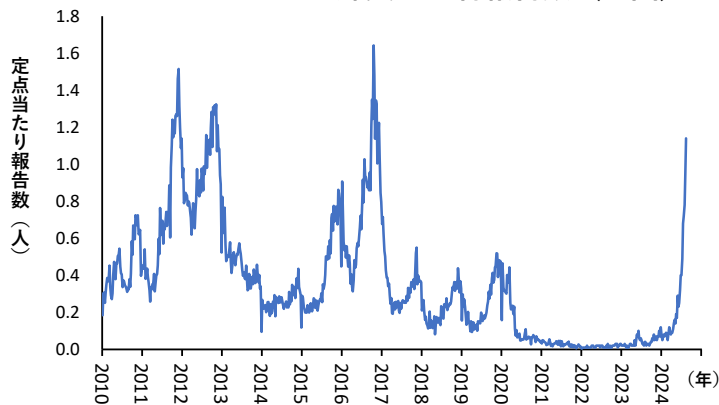
《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	COVID-19	8.86 (↓)	10.21
2位	手足口病	6.18 (↓)	8.66
3位	感染性胃腸炎	1.86 (↓)	3.38
4位	RSウイルス感染症	1.68 (↓)	2.97
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07 (↓)	1.41
6位	マイコプラズマ肺炎	1.00 (↑)	0.80

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました

マイコプラズマ肺炎の患者報告数(全国)



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第33週 令和6年8月12日～令和6年8月18日）

分類	疾患	今週報告分（第33週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核	1				4	5	9	4	25	7	36	81	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	3	14	5	20	47	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	3	3	4	11	
	四類感染症	E型肝炎											1	1	
		ポツリヌス症											4	4	
		レジオネラ症				2		2	2	1	8	3	16	30	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							1		3		8	12	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3	1	9	14	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	2	6	
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
		水痘（入院例）							1	1				2	
梅毒		1				1	2	2		5	5	11	23		
播種性クリプトコックス症												1	1		
破傷風										1			1		
百日咳											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザノ COVID-19定点 （44定点）	インフルエンザ		1				1	1,078	1,030	4,042	1,565	5,073	12,788	
		COVID-19	103	37	117	67	66	390	1,981	1,056	3,260	1,852	2,735	10,884	
	小児科定点 （28定点）	RSウイルス感染症	7	4	14	6	16	47	57	66	560	46	425	1,154	
		咽頭結膜熱	3	1	4		3	11	107	257	674	37	697	1,772	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			21	1	8	30	176	167	2,640	310	1,244	4,537	
		感染性胃腸炎	16	3	10		23	52	753	634	1,405	667	3,307	6,766	
		水痘				2	1	3	2	13	113	11	68	207	
		手足口病	1	14	83	21	54	173	85	295	1,504	371	1,513	3,768	
		伝染性紅斑							1		8	1	9	19	
		突発性発しん	1	1	1	1		4	9	13	96	28	88	234	
		ヘルパンギーナ	1		7	12	4	24	71	19	81	54	178	403	
		流行性耳下腺炎							3	1	5	2	7	18	
		眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
			流行性角結膜炎							8	1	30	5	9	53
		基幹定点 （5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
			マイコプラズマ肺炎		2	2	1		5		4	13	2	4	23
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1
		入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179
			COVID-19による入院患者	5	3	12	15	8	43	165	133	138	204	484	1,124

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

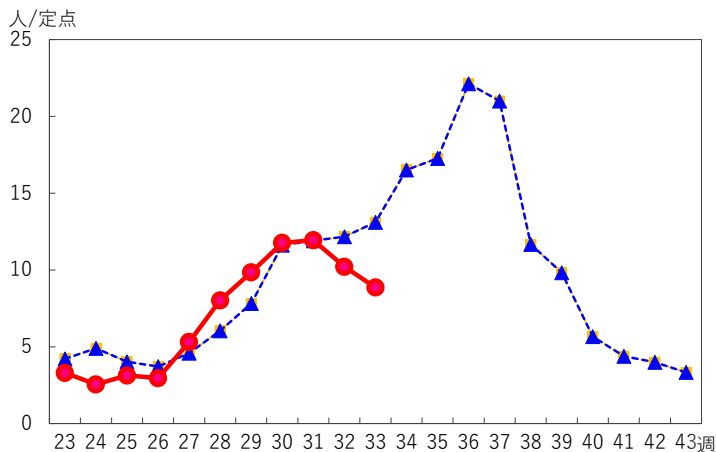
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第33週（8月12日（月）～8月18日（日））

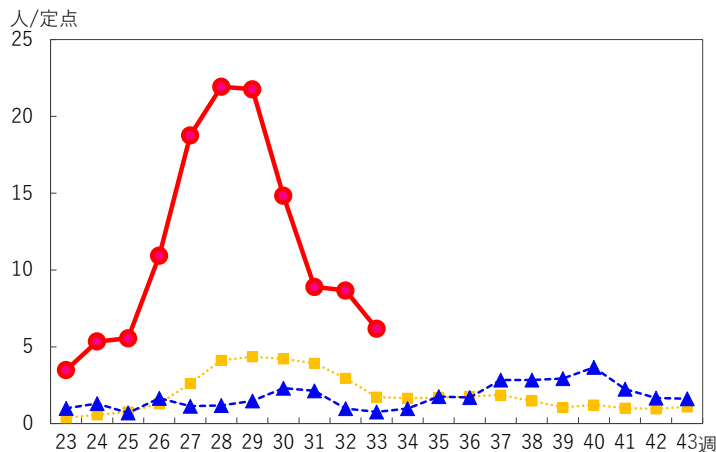
8月21日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

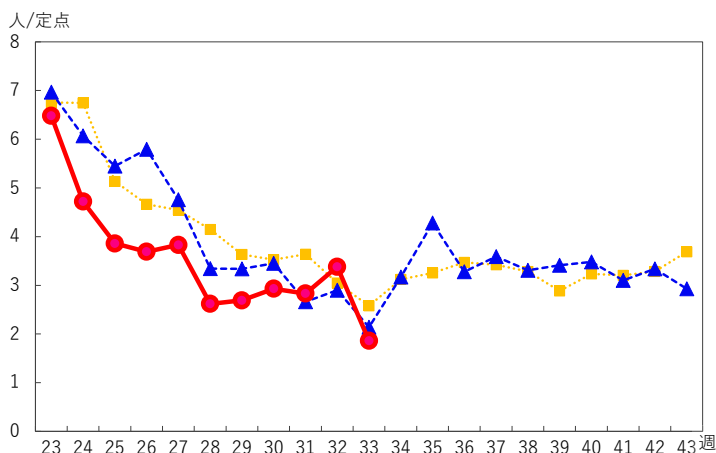
COVID-19



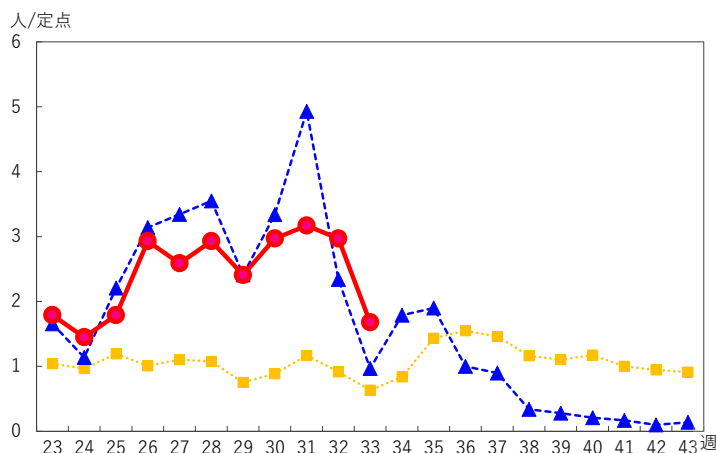
手足口病



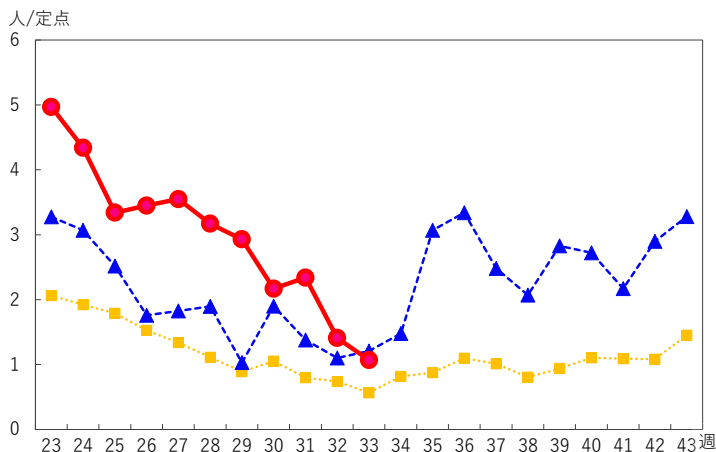
感染性胃腸炎



R S ウイルス感染症



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



マイコプラズマ肺炎

